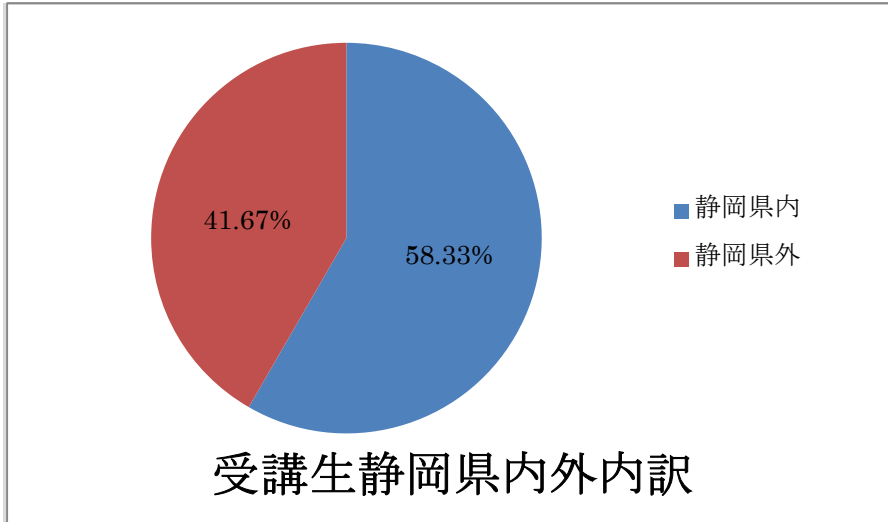


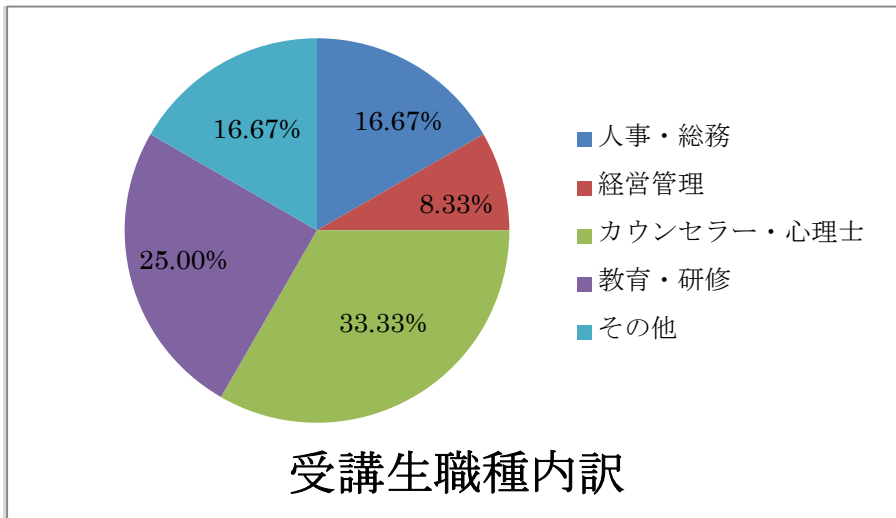
2013年度 EAPカウンセラー養成講座 受講者の声

- ◇実際のEAPカウンセリングがどのような感じなのかを垣間見ることができてよかったです。演習を折り混ぜながらだったので、楽しく受講できました。
- ◇世代間の違い、共通点を理解することは、職場の人間関係を構築する上でも必要だと感じる。それぞれ思考や意識の特性、社会背景を知る機会を設けることで、よりお互いが歩みより、より職場を活性化させるきっかけになるのではと感じました。ありがとうございました。
- ◇やはり発達障がいへの対応は難しいと思った。ただ働いている方で、傾向があり悩んでいる方への対応には、業務内容をしっかりとヒアリングをして具体的に対策をたてるのが大切だと思った。対応のコツもぜひ参考にさせていただきたいと思いました。
- ◇精神科医の中でも、特に労務に関わるスペシャリストの先生のお話を聞く事ができて、とても嬉しかったです。安全配慮義務においてEAPを行う上での配慮すべきことがよく分かりました。
- ◇会社から見たメンタルヘルス不調を抱えた方に対する対応や、安全配慮義務について理解することができました。企業の側の立場と個人の立場の調整について考えさせられました。
- ◇組織への改善提案する際に、理想だけが先走りし、机上の空論にならないように目の前にある問題をきちんと冷静に捉えた上で、誰と連携するのか、視点をどこに持つのかを段階的に取り組む必要があると改めて感じました。ありがとうございました。
- ◇睡眠についてちゃんと学んだことがなかったので、学べて良かった。一般に言われていることが全て正しいことではないことなどがわかり、正しい理解を身につけることの重要性を感じた。
- ◇労働法はEAPを行うにあたって必要な基礎知識で、正しく把握しておくことが大切だと思いました。
- ◇業務ヒアリングについて鈴木先生の実践経験に基づく話が大変参考になった。医療機関では、カウンセリングを受けたい人が中心なので、カウンセリングへ抵抗がある方も多い企業にて、業務について話していく中で共通語を作っていく大切さを理解できた。同時に人に仕事の事を細かく聞き、話してもらうおもしろさを感じた。
- ◇ロールプレイは大変良い刺激になり、管理職の方がいかに大変かを知ることができました。「専門機関につなげる」という行為でも「EAPにつなげる」という意味と「精神科につなげる」という意味の違いも明確に体験できました。

EAPカウンセラー養成講座参加者内訳



※愛知県・三重県等、静岡県外からもご受講いただきました。



※対人援助職の中でも、フリーランスでご活躍をされている方に比較的多くご受講いただきました。

EAPカウンセラー養成講座風景



EAPカウンセラー養成講座レポート

今回はプログラムの一部を変更し、新たなプログラムを行いました。理論を含む、より実践的・具体的なカリキュラムを取り入れ、現役のEAPカウンセラーが多く登壇いたしました。EAPの現場で起こっている実情、対応方法をお伝えすることで、受講者の皆様からは「明日から、取り入れることが出来る内容だった」と非常にご満足いただきました。

三期生は、フリーランスでご活躍をされている方に比較的多く受講をいただきました。「EAPを取り入れたい企業にアプローチしていきたい」「企業側からメンタルヘルス研修を行って欲しいと依頼があった」等、今後EAPを視野に入れて活動を行ってほしいという方もいらっしゃいました。社会でのEAPに対する認知が向上した表れではないかと感じました。

休職者が増加の一途を辿る中、今後、EAPに対する企業の期待は高まります。また、EAPカウンセラーの需要も、ますます必要になってくるのではないかと日々感じております。

EAPカウンセラー養成講座事務局 担当：三輪